

第 14 期 pES club step4 大会看護学生シナリオ

平成 27 年 6 月 28 日

聖路加国際病院 看護管理室/QI センター

池亀 俊美

東京北医療センター 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたは人間ドック専門病棟に勤務する 2 年目看護師です。

伊亀羅小和伊さん（70 歳男性）は、5 年前に、労作時息切れをきっかけに狭心症と診断され、経皮的冠動脈形成術を受け、左前下行枝 6 番に薬剤溶出性ステントを入れました。その後は、週 1 回スポーツクラブでエルゴメータ、マシントレーニング、水中ウォーキングをしています。

伊亀羅さんは毎年、誕生日になると人間ドックを受けています。ちょうど 20 回目の今年の人間ドックは、次のような問診でのやりとりから始まりました。

伊亀羅：「今年も胃の検査は胃カメラでお願いします。いつものように眠っている間に終わるようにしてくださいね」

あなた：「伊亀羅さん、実は当院では、70 歳以上の方が胃カメラを受ける時は、眠るお薬は使用できない決まりになっているんです」

伊亀羅：「エっ？ どうしてですか？ 70 歳以上はだめなんて。眠っている間に済む胃カメラしかやったことないですよ。何とかならないの？」

伊亀羅さんの現在の内服薬は以下の通りです。

バイアスピリン錠 1 錠分 1 朝食後

クレストール錠 2.5mg 1 錠分 1 朝食後

アーチスト錠 5mg 1 錠分 1 朝食後

レニベース錠 5mg 1 錠分 1 朝食後

普段の血圧は 120/78mmHg 脈拍 60 回/分、整で、特に異常はありません。

あなたは、伊亀羅さんが毎年鎮静剤を使用して胃カメラ（上部内視鏡検査）を受けており、これまで問題もなかったこと、体調も特に変わりはない様子なので、鎮静剤を使用してもよいかもしれないと思いました。しかし、内視鏡担当医師に確認したところ、「規定どおり鎮静剤は使用しない」ということでした。

あなたは伊亀羅さんに、内視鏡検査を受ける際には鎮静剤は使用できないことを説明することになりました（10 分間）。